

金沢工業大学COI研究推進機構はこの研究開発活動を円滑に推進するために設置されました。
研究開発期間の終了後も、革新的なイノベーション創出に向けた研究開発を継続できるよう、機構運営グループを中心に、革新複合材料研究開発センターにおいてプラットフォーム構築を推進しています。

COI研究推進機構 組織図と参画機関



金沢工业大学 COI研究推進機構

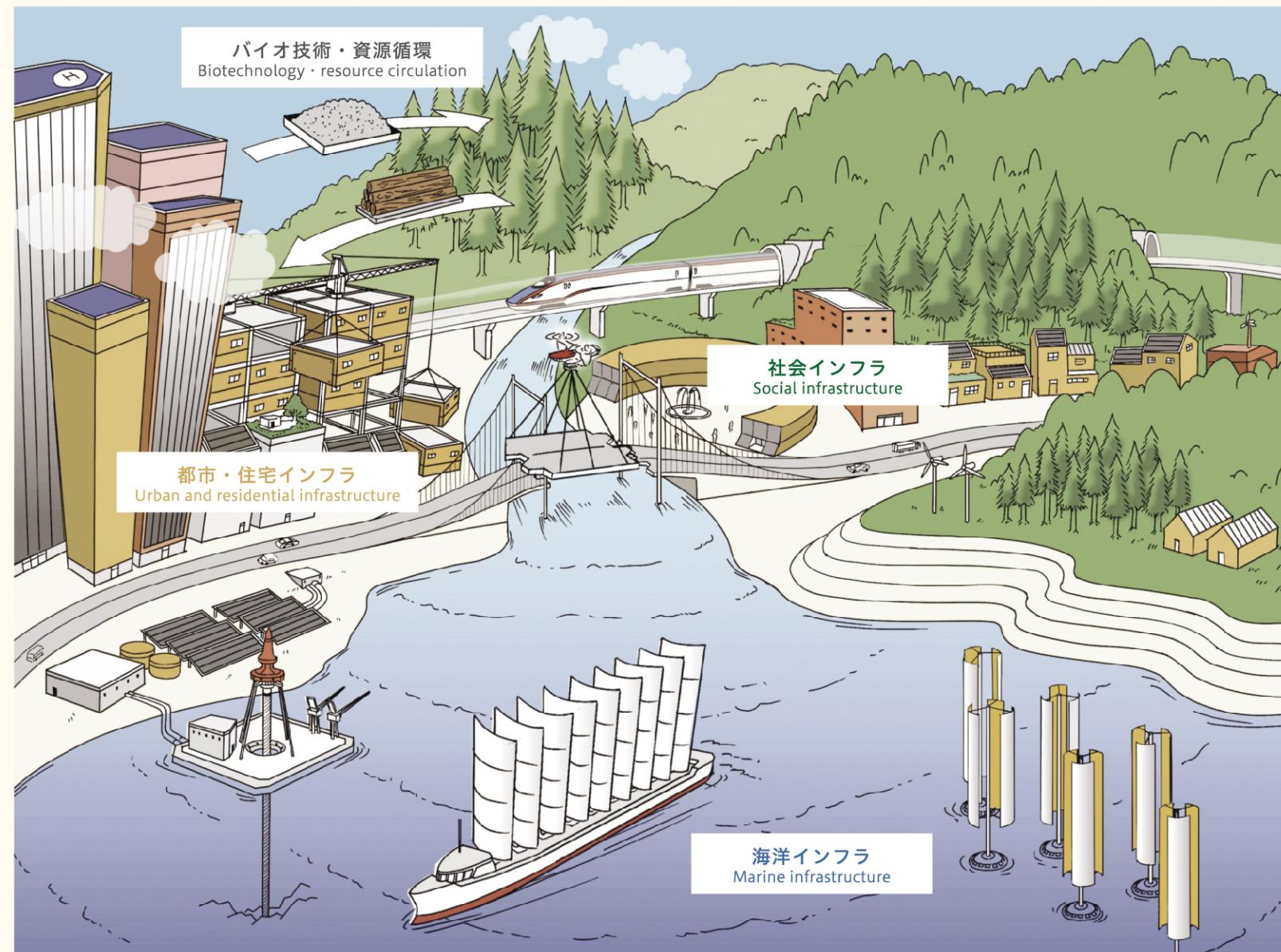


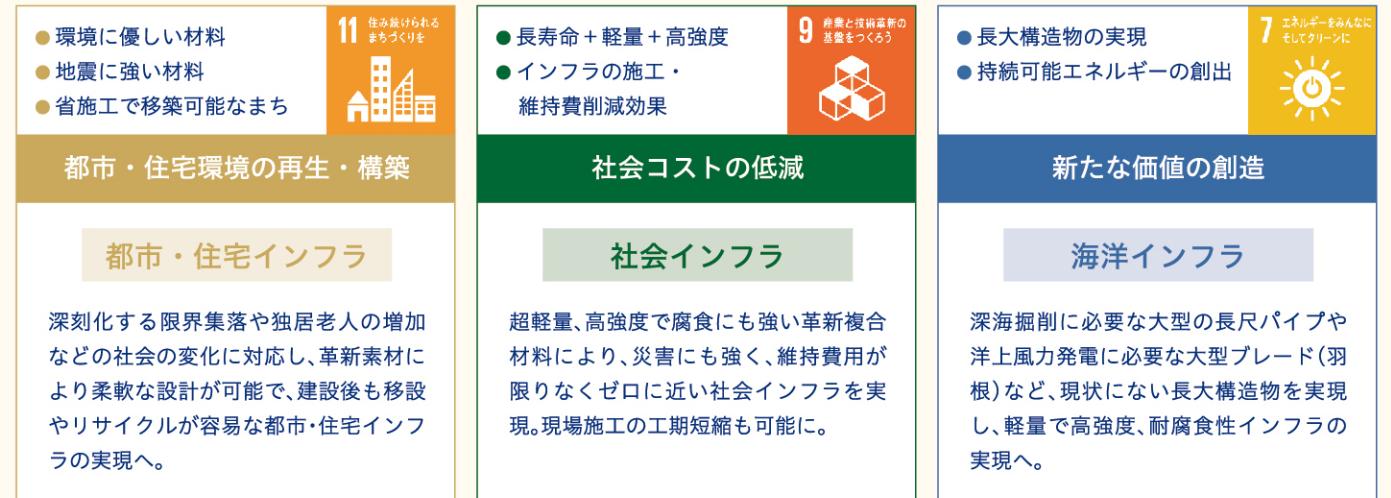
〒924-0838 石川県白山市八束穂2-2
金沢工业大学やつかほりサーチキャンパス(石川ソフトリサーチパーク内)
TEL: 076-276-3100 (代表) FAX: 076-276-3101
<https://www.icc-kit.jpcoi/> Mail: icc-info@mlist.kanazawa-it.ac.jp
アクセス 松任駅よりタクシーで15~20分

革新材料による次世代インフラシステムの構築

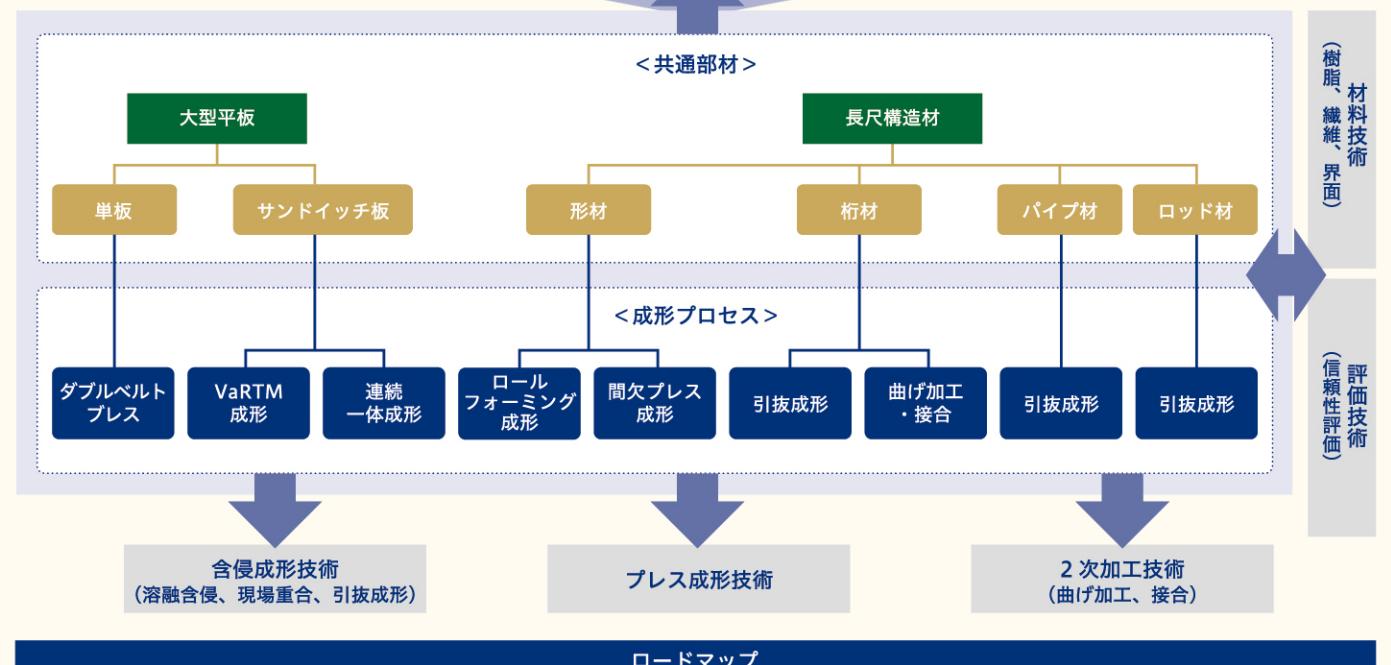
～安全・安心で地球と共に存する数世紀社会の実現～

Construction of next-generation infrastructure using innovative materials
～Realization of a safe and secure society that can coexist with the Earth for centuries～





バックキャスト



研究開発テーマ

金沢工業大学COIは、異業種・異分野による共同研究や技術融合による産学官の連携を背景に、川上(基礎研究)から川下(産業への適用研究)まで、一つ屋根の下(アンダーワンルーフ)で一貫した研究開発を推進しています。

革新素材の開発

バイオ技術や高分子合成技術を活用し、環境性能に優れ、高機能な「革新素材」を研究開発します。

革新製造プロセス・製造装置の開発

革新素材を応用した工業製品の製造プロセス(工程)と製造装置の研究開発により、低成本で大量生産を可能にする「革新製造技術」を確立します。

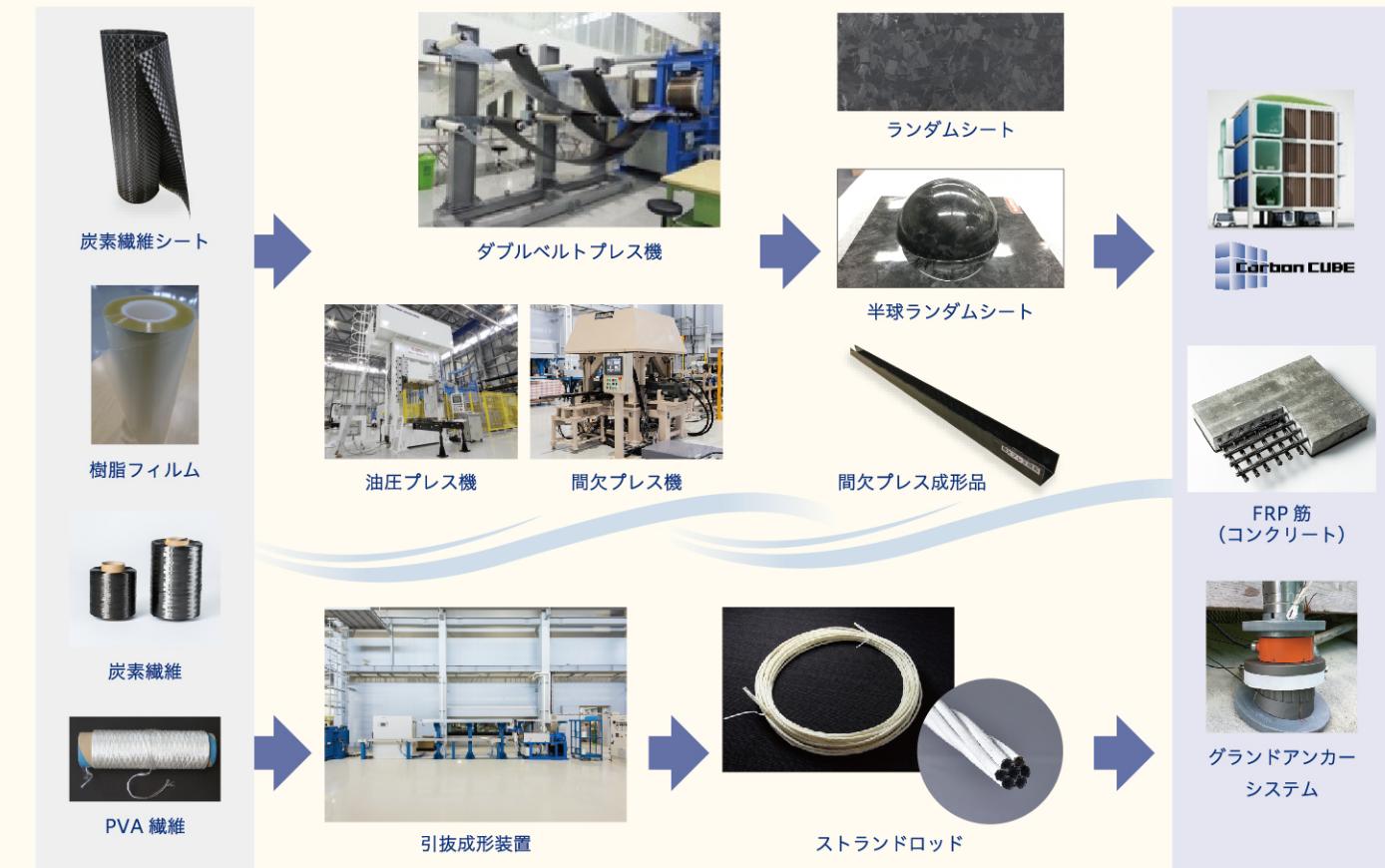
アプリケーションの開発

都市・住宅インフラ: 柔軟な設計と移設が容易な建築・構造物、耐震補強材など

社会インフラ: メンテナンスコストの低減可能な道路、トンネル、橋梁など

海洋インフラ: 既存の材料では実現が不可能な大型帆走船、洋上風力発電、海洋構造物など

革新素材の開発、革新製造技術の確立、アプリケーションの開発により、革新材料による次世代インフラシステムを構築し、安全・安心で、長期間に亘って価値を失わない社会の実現を目指します。



COI STREAMとCOIプログラムについて

文部科学省は平成25年度に「革新イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」を開始し、10年後の社会で想定されるニーズを検討し、そこから導き出されるるべき社会の姿、暮らしのあり方(以下、「ビジョン」という)を設定しました。

このビジョンを基に、科学技術振興機構(JST)ではセンター・オブ・イノベーション(COI)プログラムとして、チャレンジング・ハイリスクな研究開発を最長で9年支援する公募型研究開発プログラムを推進し、革新的なイノベーションを産学連携で実現とともに、これを連続的に創出する「プラットフォーム」を整備しています。

金沢工業大学を中心とする本拠点は、COIプログラムのビジョン3「活気あふれる持続可能な社会の構築」として採択された7つのある拠点のうちの1つです。炭素繊維を中心とした革新複合材料による次世代インフラシステム実現に向けた研究に取り組みます。